

### 各地の職場から

今回は沖縄県的那覇港湾施設及び陸軍貯油施設に勤務し活躍されている方々を紹介します。



#### プロフィール

お名前：<sup>たかぎ ゆたか</sup>嘉敬 裕  
 職場名：第835米国陸軍輸送大隊（那覇軍港）  
 職種：IT スペシャリスト  
 趣味：バイクと釣り

#### プロフィール

お名前：<sup>こいし ゆさく</sup>小西 宇鴻  
 職場名：DLA-Energy Okinawa  
 （国防省兵站局工ネルギー沖縄）  
 職種：潜水士  
 趣味：釣り、ドライブ

#### コメント

第835米国陸軍輸送大隊、SDDC（那覇軍港）は沖縄県那覇市の中心にあります。我々、第835米国陸軍輸送大隊の任務は「沖縄と米インド太平洋軍管轄地域での支援任務の下、軍隊維持機能を提供するため、海上配備・流通機能を統合し、同期化し、実行する」ことにあります。

私は1992年に那覇軍港にカーゴクラークとして、勤めさせていただきました。カーゴクラークのタスクとは、那覇新港（宍謝港）で、毎週アメリカから入港する2隻の大型貨物船（APLとSealand）から降ろされたコンテナ約600個を最終行き先まで手配するのを担当していました。

1993年に新しい部署として、軍属1人と日本人従業員3人の情報管理部が設立され、コンピューター経験は浅かったのですが、情報管理部に応募し移りました。当時は今と違い、敬人しがコンピューターは割り当てられていませんでしたが、それから毎年コンピューターの台数が増え、2年半後には部隊の従業員全員の机にネットワークに繋がれたコンピューターが設置されました。テクノロジーがパソコンからワークステーションに変わり、新しい技術やソフトを学ぶため、TDYや研修に参加し、チャレンジいっぱい毎日でした。

1993年から約28年が過ぎ、軍属2人と日本人従業員1人の事務所になりましたが、テクノロジーが進み、現在ほぼ全ての従業員のワークステーション、SDDC独自のサーバー、タブレットやスマートフォン等の設定・管理をしています。約5、6年サイクルで新しいテクノロジー・オートメーションの入れ替えがあり、毎回新しいデバイスの自習や研修の繰り返しで大変な時もありますが、最新のテクノロジーに触れるチャンスなので、充実しています。

最後に、現在、沖縄県も含めて、緊急事態宣言が発表されています。皆さん、自粛はつらいと思いますが、みんなでコロナを乗り越えましょう！

Keep Safe!

#### コメント

私の働いているDLA-Energy Okinawaではジェット機やヘリコプター、そして船舶などが使用する燃料の運搬を行っています。その中で私は潜水士業務を行います。海底にあるパイプラインやパイの点検、陸上では船で使うロープなどを編んだり、タンカー船が来た際は船上に上がりホースを繋いだりし、沖縄で使われているジェット燃料を受け取る最前線で仕事をしています。

私は昔から海が好きで、将来は海関係の仕事に就きたいと学生時代から夢描いていました。そんな私は元々沖縄出身ではなく、兵庫県神戸市から沖縄に約7年前に移住してきました。最初は基地の外でダイビングインストラクターとして働いていましたが、基地の中に潜水士の仕事があることを知り、将来絶対にここに就職すると夢を描いていました。そんな中、最初から簡単に潜水士にはならず、様々な部署で仕事を経験してきました。そして去年、その思いが叶い、現在に至ります。

仕事は危険とも常に隣り合わせな作業などもありますが、周りの上司や先輩方に支えられながら励んでいます。

プライベートでは、沖縄本島の北から南まで愛車のJimnyでドライブしたりします。北部の方へ行くとやんばるという今年世界遺産にも登録された天然の森や、南部に行くと見渡す限りの綺麗な海!! 浅いところはエメラルドブルー、深くなると濃いブルーの綺麗なグラデーションになっている海をビーチから眺めるだけで癒されます。もちろん途中でシュノーケリングなどすると、トロピカルな魚たちやウミガメなどと泳ぐこともできます。

現在はCovid-19の影響で遠出できない環境にありますが、これが終息したら早く友達とまた離島巡りたいです!!

皆さんもコロナに負けず、健康に過ごせることを願っています。